

令和4・5年度事業



佐渡いやしの杜づくり事業

新潟県佐渡市



事業概要

本事業は、佐渡市の赤泊地区（カヤ、五所神社法乗坊のエドヒガン）、金井地区（ゆずる公園）の森の生物多様性（神社の天然記念物の御神木や境内の植生など）と伝統文化を保全することが目的である。同時に、子どもたちや市民、障がい者、高齢者などが森での活動に主体的に参加しやすい環境をつくるためのボランティア活動を実施する。主な活動は、①資源活用（カヤの実の加工）、②活動拠点環境整備、③障がい者支援団体と連携した農林福連携の推進。

事業成果

カヤの実を150kg活用できた。そして、環境整備により、「森のようちえん・学校」、「障がい者の職業訓練」の活動拠点の整備が進んだ。また、農林福連携モデルの構築が進み、二つの障がい者支援団体と連携・協力ネットワークができた。さらに、ワークショップや少人数研修を通じ、林業の専門家が指導者となってボランティアを育成した。

事業をよく知る関係者の声

- ・障がいのある青年は新たな体験や就労経験に意欲的に参加し、自尊心や協調性、作業能力の向上が見られた。精神面の安定や体力向上などの効果も大きく、研修日数を増やしてほしい。(就労支援施設 チャレンジド立野 代表)
- ・他団体や、新潟など佐渡島外の指導者との協働により、新たな障がい者支援の可能性を実践的に探ることができた。林業などの専門家と障がい者支援が協働することの可能性は大きいと思う。(就労支援施設 あんずの家 職員)

参加者の声

- ・就労支援施設では体験できない多様な研修に参加でき、やりがいと楽しさがあった。(参加した青年)
- ・体を使って力いっぱい働いたことでストレスを発散でき、前向きに考えられるようになり、夜もぐっすり眠れるようになった。(参加した青年)



環境改善の勉強会



沢の環境改善を实践



森の学校拠点づくり



オープンキッチンの完成

実績とりまとめ

作業内容

- 下刈面積：6.2ha
- 除伐面積：2.1ha
- 間伐面積：0.8ha
- 竹林整備：0.9ha
- その他：森の学校整備

参加者数

- 県内：317人
- 県外：55人
- 計：372人

ヌエバ・ビスカヤ州における森林農法事業

フィリピン・ヌエバ・ビスカヤ州カヤパ町バヨ村



事業概要

ルソン島北部のヌエバ・ビスカヤ州カバヨ村において森林の農地転用が進行していることを受け、住民収入の向上と森林保全を目的に、アラビカコーヒーを主作物とするアグロフォレストリー用苗木1万5,500本を配布した。また、村内2か所での苗床造成や講習会、小中学校での環境教育を実施し、現地環境団体「CGN」と連携のもと、受益者組織CCFOが中心となり、苗づくり・植栽を実施。森林官資格を持つ専門家や先進農家が技術指導を行った。

事業成果

現地森林官の指導や講習会により受益者のアグロフォレストリーへの理解が向上した。一方で、台風や土砂災害、農薬影響、病害虫等により苗木は被害を受け、2年間で3度の植え替えが必要となったが、CCFOメンバーは継続して対応し、事業を実施した。

事業をよく知る関係者の声

- ・受益者は当初、コーヒー栽培は「植えれば育つ」との認識であったが、継続的な指導を通じて、①適切な除草のタイミングと方法、②有機肥料の適切な投入、③病害虫の早期発見と防除、④土壌保全のための等高線に沿った植栽の重要性を理解し、実践するようになった。(事業での技術指導を担当した森林官)

参加者の声

- ・このプロジェクトによってコーヒーの森林農法による植栽が私たちのコミュニティや環境に大いに役立つことを学んだ。(受益者)
- ・将来の世代にとって長期的な恩恵をもたらすことは分かったが、短期的な収入源にはならないので、野菜栽培と同時進行が必要である。(受益者)



コーヒー果皮除去機づくりのワークショップ



苗場づくり実習



植樹作業



環境教育ワークショップ

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：1万1,773本

講習会：5回

環境教育ワークショップ：1回

苗床づくり：2か所

参加者数

フィリピン：304人

計：304人

樹種

アラビカコーヒー